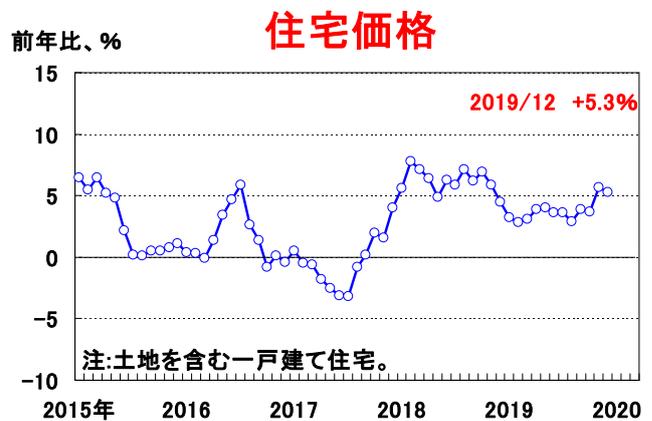
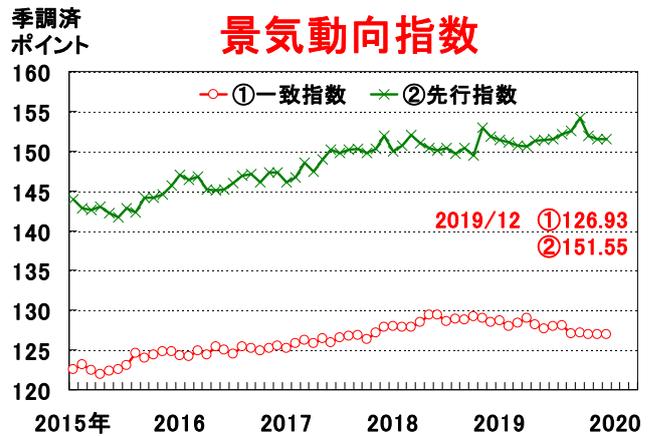
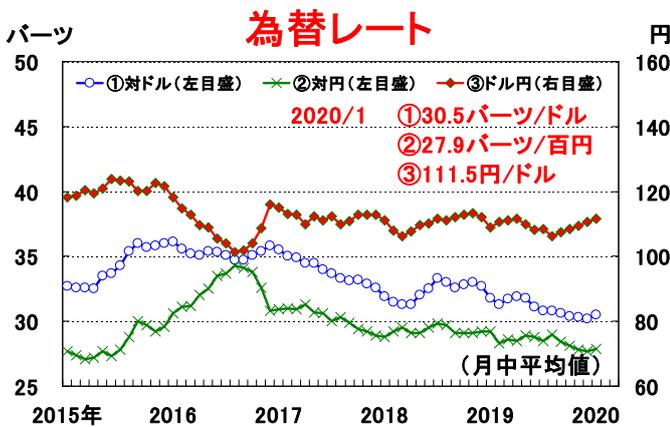
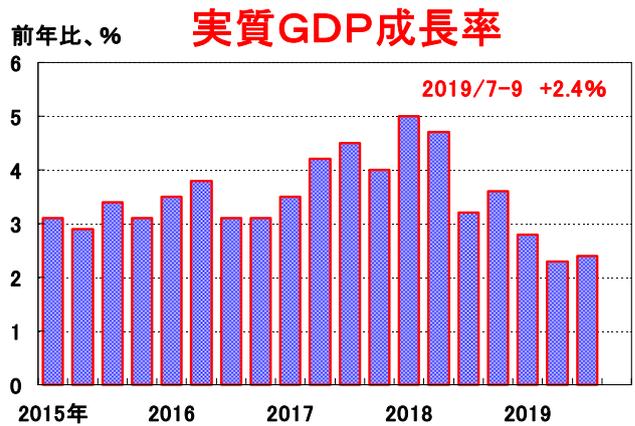
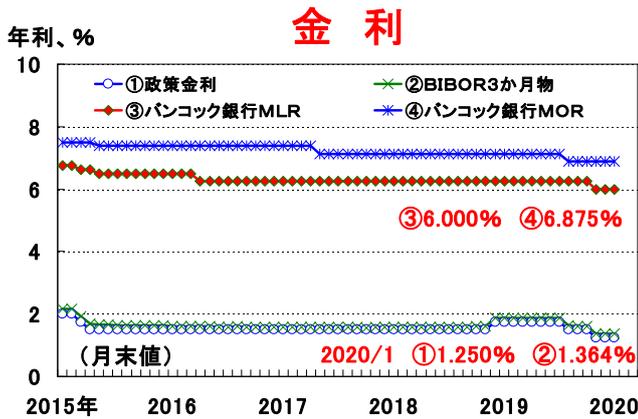


グラフで見るタイ経済 2020年2月号(No. 128)

タイの景気は減速基調にある。2019年12月の指標をみると、景気動向指数は、一致指数が2か月続けて下落したうえ、先行指数も2019年7月以来の低水準となった。企業部門では、輸出が前年比-1.3%と5か月連続で前年水準割れとなった。また工業生産指数は前月比で増加に転じたものの、依然として低い水準にとどまり、主力産業である自動車の生産台数も前年比-20.8%と大幅な減少基調で推移している。一方、家計部門に関しては、個人消費指数が前月比+0.4%と、サービス消費の堅調な増加などを背景に、上昇した。

【足元の景気判断】

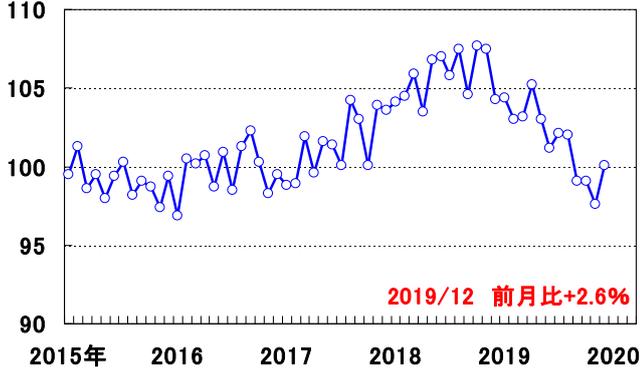


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

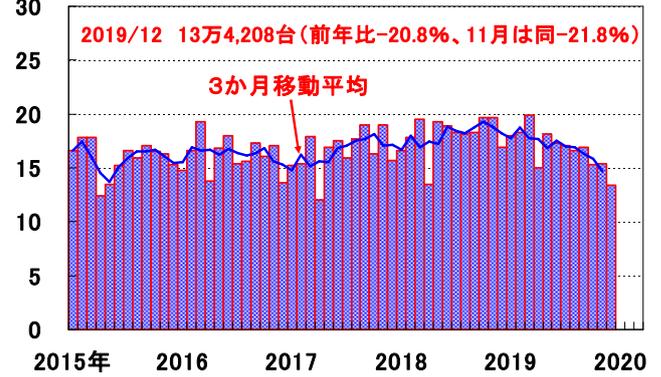
本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

季調済
2011年=100

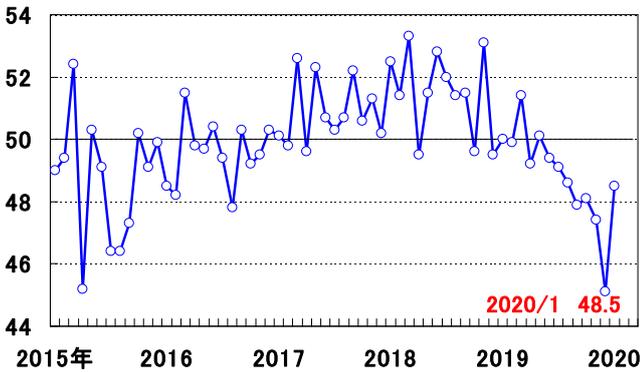
工業生産指数



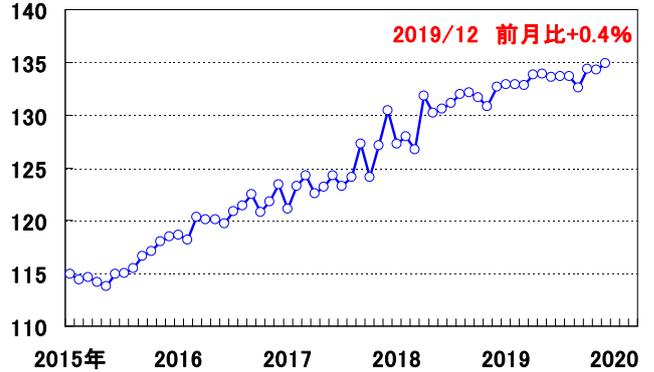
自動車生産台数



企業景況指数(BSI)



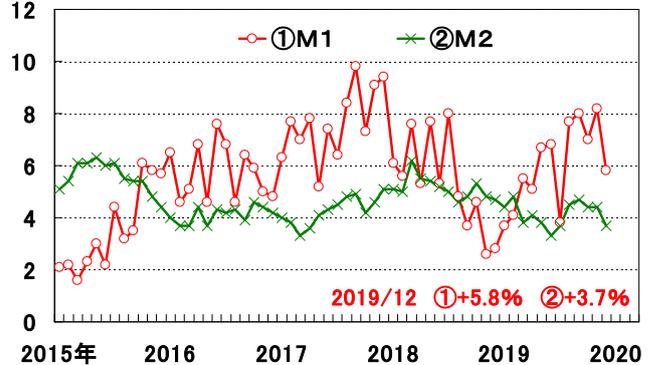
個人消費指数



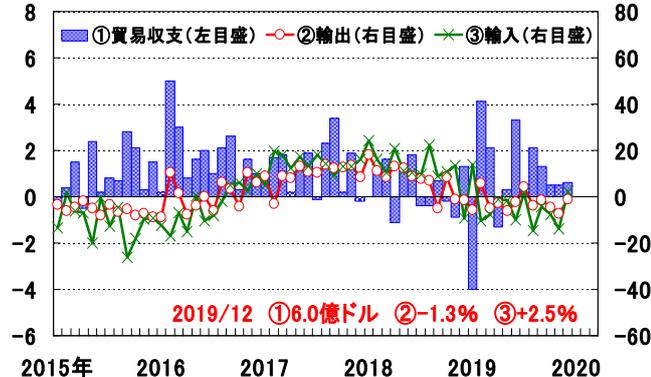
民間投資指数



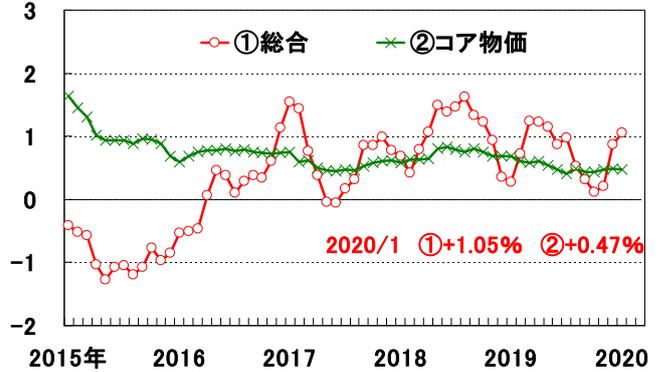
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。